

放課後児童健全育成事業見込量の算出方法について

(※ニーズ調査の目的等については第1回部会資料7-1参照)

1. 概要

市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出方法に関する国の手引きに則した放課後児童健全育成事業見込量は、標準的な算出方法を示すものであり、地方版子ども・子育て会議等の議論等を踏まえたより効果的、効率的な方法による算出を妨げるものではないとされています。

また、平成26年5月1日付で国より、下記の方法がより実態に近い「量の見込み」になるとの情報提供がありました。

- ① 5歳児調査と就学児調査の両方を実施している市区町村については、就学児調査の結果を「量の見込み」とする。
- ② 5歳児調査のみを実施している市区町村については、別紙傾向を踏まえ、5歳児調査と就学児調査の乖離度又は就学児調査の利用意向率の全国平均値を用いて、5歳児調査の数値を補正して「量の見込み」とする。

そこで、新潟市としましても、就学児調査結果も活用した算出結果を見込量として使用し、今後の「放課後児童健全育成事業」の業務量の精査を進めたいと考えています。

2. 算出方法

国の手引きに基づく算出方法を基本とし、実際の登録児童数予測に近づけるため、就学児調査結果及び、未就学児(5歳児)のニーズ調査結果数値における、平成26年4月の1年生の実際の利用状況との差を反映させます。

※調査時点の5歳児が、平成26年4月に1年生となり、全て受入れを行っているため。

算出ステップ	国の手引き	本市の算出方法
1	算出対象児童	計画期間における出生各区毎の将来人口推計(a)
2	事業を利用する対象者及び利用率の抽出	<p>(1)「家庭別類型」による絞込み ・ひとり親家庭 ・フルタイム×フルタイム ・フルタイム×パートタイム ・パートタイム×パートタイム の全体に占める割合を算出(b) ※現在の就労状況に将来の就労意向を反映した「潜在家庭類型」によるものとする。</p> <p>(2)(1)の類別ごとに、「利用意向率」を算出(d)</p> <p>(1)同じだが、未就学児・就学児調査における低学年・高学年に分けて算出 (b未・b低・b高)※b=b未 (2)(1)の類別ごとに、「利用意向率」を未就学調査・就学時調査に分けて算出(d未・d低・d高) ※d=d未 (3)(1)の類別ごとに、未就学調査・就学児調査における低学年・高学年の意向率を算出 (f未低・f未高・f小低・f小高) (4)未就学調査による見込量(e)における小学1年生の見込み量とH26.4の1年生の「実利用割合」を算出(g1)さらに、2年生、3年生はH26持ち上がり率を算出(g2・g3)</p>
3	対象児童数の算出	「計画年毎の推計児童数」(a)×(b)＝「家庭別類型別児童数(人)」(c)を算出 「計画年毎の推計児童数」(a)×((b未・b低・b高)＝「家庭別類型別児童数(人)」(c未・c低・c高)を算出※c=c未
4	見込量算出	「見込量(人)」 (c)×(d)=(e) 「見込量(人)」 A: (c未)×(d未)×(f未低)× ^(g1) (g1)×(g2) (g1)×(g3) B: (c未)×(d未)×(f未高)×(g1) C: (c低)×(d低)×(f小低) D: (c低)×(d低)×(f小高) E: (c高)×(d高)×(f小低)

A～E 5種類の見込み量を算出します。(記号については、次頁参照)

※記号解説

記号	内容
a	将来人口推計
b・b未	未就学児 家庭類型別の全体に占める割合
b低	就学児(低学年) 家庭類型別の全体に占める割合
b高	就学児(高学年) 家庭類型別の全体に占める割合
c・c未	未就学児 家庭類型別児童数
c低	就学児(低学年) 家庭類型別児童数
c高	就学児(高学年) 家庭類型別児童数
d・d未	未就学児 利用意向率
d低	就学児(低学年) 利用意向率
d高	就学児(高学年) 利用意向率
e	未就学児 見込量
f未低	未就学児 低学年での利用意向率
f未高	未就学児 高学年での利用意向率
f小低	就学児 低学年での利用意向率
f小高	就学児 高学年での利用意向率
g1	eにおけるH26.4小学1年生の実利用率
g2	H25→H26 の2年生持ち上がり率
g3	H25→H26 の3年生持ち上がり率

記号	内容
A1	未就学児 低学年(1年生)見込み量
A2	未就学児 低学年(2年生)見込み量
A3	未就学児 低学年(3年生)見込み量
B	未就学児 高学年見込量
C	就学児(低学年) 低学年見込量
D	就学児(低学年) 高学年見込量
E	就学児(高学年) 高学年見込量

新潟市の放課後児童健全育成事業見込量の算出方法概要

平成25年度調査時	低学年の時の 利用希望	高学年の時の 利用希望
未就学児(5歳児)調査	A1・A2・A3	B
就学児(小学校低学年)調査	C	D
就学児(小学校高学年)調査	—	E

※A・Bについては、実利用児童数(H26.4 1年生)の割合による調整を行う。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
H27	A1	A2	C	D	D	E
H28	A1	A2	A3	D	D	D
H29	A1	A2	A3	B	D	D
H30	A1	A2	A3	B	B	D
H31	A1	A2	A3	B	B	B

※ニーズ調査時の未就学児は、H27年度新2年生となり、その成長に合わせ、利用意向をスライドさせる。

※Aについては、1年→2年→3年の持ち上がり率(H25→H26)をかける。

	児童数予測		国の手引きによる算出方法							
			未就学児(5歳児)調査				就学児調査			
	低学年	高学年	低学年	利用意向率	高学年	利用意向率	低学年	利用意向率	高学年	利用意向率
H27	20,115	20,344	10,441	52%	10,560	52%	6,723	33%	1,318	6%
H28	20,147	20,176	10,458	52%	10,473	52%	6,734	33%	1,307	6%
H29	20,272	20,160	10,523	52%	10,464	52%	6,775	33%	1,306	6%
H30	20,247	20,268	10,510	52%	10,521	52%	6,767	33%	1,313	6%
H31	20,031	20,300	10,397	52%	10,537	52%	6,695	33%	1,315	6%

新潟市乖離度(就学児調査/5歳児調査) 64% 12%

指定都市平均乖離度 81% 72%

※乖離度の割合が高いほど、「5歳児調査」と「就学児調査」の乖離が少ない。

	本市の算出方法(暫定値)			
	低学年	利用意向率	高学年	利用意向率
H27	7,472	37%	668	3%
H28	7,697	38%	906	4%
H29	7,743	38%	1,627	8%
H30	7,732	38%	2,368	12%
H31	7,641	38%	3,104	15%

※参考 登録児童数実績(暫定値)

	児童数予測		低学年		高学年	
	低学年	高学年	児童数	利用率	児童数	利用率
H23.5	20,216	21,388	6,022	30%	138	1%
H24.5	20,087	21,135	6,306	31%	152	1%
H25.5	20,059	21,047	6,630	33%	211	1%
H26.4	19,824	20,343	7,135	36%	380	2%

各区ごとの放課後児童健全育成事業見込量(暫定値)

		児童数予測		国の手引きによる算出方法				本市の算出方法				※参考 H26.4/1暫定値	
		低学年	高学年	低学年	利用意向率	高学年	利用意向率	低学年	利用意向率	高学年	利用意向率	低学年	高学年
新潟市全体	H27	20,115	20,344	10,441	52%	10,560	52%	7,472	37%	668	3%	児童数	
	H28	20,147	20,176	10,458	52%	10,473	52%	7,697	38%	906	4%	7,135	380
	H29	20,272	20,160	10,523	52%	10,464	52%	7,743	38%	1,627	8%	利用率	
	H30	20,247	20,268	10,510	52%	10,521	52%	7,732	38%	2,368	12%	36%	2%
	H31	20,031	20,300	10,397	52%	10,537	52%	7,641	38%	3,104	15%		
北区	H27	2,003	2,007	1,075	54%	1,078	54%	787	39%	65	3%	児童数	
	H28	1,996	1,977	1,072	54%	1,062	54%	786	39%	86	4%	685	3
	H29	1,962	2,028	1,053	54%	1,089	54%	771	39%	170	8%	利用率	
	H30	1,951	2,012	1,048	54%	1,080	54%	769	39%	245	12%	35%	0%
	H31	1,935	2,005	1,039	54%	1,077	54%	760	39%	318	16%		
東区	H27	3,492	3,500	1,780	51%	1,784	51%	1,286	37%	123	4%	児童数	
	H28	3,408	3,567	1,737	51%	1,818	51%	1,279	38%	167	5%	1,258	32
	H29	3,452	3,538	1,759	51%	1,803	51%	1,296	38%	281	8%	利用率	
	H30	3,450	3,501	1,758	51%	1,784	51%	1,294	38%	395	11%	37%	1%
	H31	3,359	3,417	1,712	51%	1,742	51%	1,258	37%	510	15%		
中央区	H27	4,171	4,145	1,994	48%	1,982	48%	1,502	36%	154	4%	児童数	
	H28	4,249	4,159	2,032	48%	1,989	48%	1,486	35%	218	5%	1,453	30
	H29	4,301	4,179	2,056	48%	1,998	48%	1,510	35%	346	8%	利用率	
	H30	4,377	4,216	2,093	48%	2,016	48%	1,533	35%	474	11%	35%	1%
	H31	4,375	4,294	2,092	48%	2,053	48%	1,533	35%	610	14%		
江南区	H27	1,934	1,963	1,217	63%	1,236	63%	866	45%	67	3%	児童数	
	H28	1,961	1,932	1,234	63%	1,216	63%	911	46%	94	5%	812	24
	H29	1,957	1,938	1,232	63%	1,220	63%	906	46%	179	9%	利用率	
	H30	1,928	1,931	1,214	63%	1,216	63%	894	46%	273	14%	43%	1%
	H31	1,926	1,957	1,212	63%	1,232	63%	895	46%	362	18%		
秋葉区	H27	2,041	2,095	910	45%	934	45%	623	31%	61	3%	児童数	
	H28	2,034	2,065	906	45%	920	45%	665	33%	79	4%	658	164
	H29	2,030	2,087	905	45%	930	45%	663	33%	144	7%	利用率	
	H30	2,016	2,080	898	45%	927	45%	659	33%	217	10%	33%	8%
	H31	1,996	2,073	890	45%	924	45%	650	33%	277	13%		
南区	H27	1,070	1,119	472	44%	494	44%	350	33%	32	3%	児童数	
	H28	1,063	1,097	469	44%	484	44%	346	33%	44	4%	343	10
	H29	1,091	1,063	481	44%	469	44%	353	32%	73	7%	利用率	
	H30	1,072	1,076	473	44%	475	44%	347	32%	106	10%	33%	1%
	H31	1,077	1,069	475	44%	472	44%	349	32%	138	13%		
西区	H27	4,113	4,064	2,517	61%	2,487	61%	1,746	42%	140	3%	児童数	
	H28	4,164	3,988	2,548	61%	2,440	61%	1,880	45%	195	5%	1,446	97
	H29	4,179	4,012	2,557	61%	2,455	61%	1,882	45%	375	9%	利用率	
	H30	4,179	4,159	2,557	61%	2,545	61%	1,891	45%	571	14%	37%	2%
	H31	4,115	4,211	2,518	61%	2,577	61%	1,853	45%	753	18%		
西蒲区	H27	1,291	1,451	565	44%	635	44%	416	32%	45	3%	児童数	
	H28	1,272	1,391	557	44%	609	44%	411	32%	60	4%	480	20
	H29	1,300	1,315	569	44%	575	44%	421	32%	93	7%	利用率	
	H30	1,274	1,293	558	44%	566	44%	413	32%	127	10%	38%	1%
	H31	1,248	1,274	546	44%	558	44%	402	32%	163	13%		

※ あくまでも暫定値であり、今後精査を行ったうえ、確定値を量の見込みとする。

平成27年度の高学年の計算

○小4・小5 **D**

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,701+6,717= 13,418
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b低)

潜在家庭類型割合(低学年)
0.128
0.389
0.313
0.004

(c低)

家庭類型別児童数
1,718
5,220
4,200
54

〈ニーズ量の算出〉 (c低)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,718
タイプB フルタイム×フルタイム	5,220
タイプC フルタイム×パートタイム	4,200
タイプE パート×パート	54

(d低)

利用意向率(低学年)
0.490
0.462
0.290
0.333

ニーズ量(仮①)
842
2,412
1,218
18

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉

	ニーズ量(仮①)
タイプA ひとり親	842
タイプB フルタイム×フルタイム	2,412
タイプC フルタイム×パートタイム	1,218
タイプE パート×パート	18

(f小高)

高学年意向率
0.154
0.192
0.008
0.000

ニーズ量(仮②)
130
463
10
0

小学4年・5年

603

○小6 **E**

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,926
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b高)

潜在家庭類型割合(高学年)
0.127
0.374
0.332
0.002

(c高)

家庭類型別児童数
880
2,590
2,299
14

〈ニーズ量の算出〉 (c高)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	880
タイプB フルタイム×フルタイム	2,590
タイプC フルタイム×パートタイム	2,299
タイプE パート×パート	14

(d高)

利用意向率(高学年)
0.099
0.102
0.042
0.167

ニーズ量(仮)
87
264
97
2

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉

	ニーズ量(仮)
タイプA ひとり親	87
タイプB フルタイム×フルタイム	264
タイプC フルタイム×パートタイム	97
タイプE パート×パート	2

(f小高)

高学年意向率
0.154
0.192
0.008
0.000

最終ニーズ量
13
51
1
0

小学6年

65

高学年合計

668

平成28年度の低学年の計算

○小1

A1

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,701	0.081	543
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,600
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,211
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	543	0.667	362
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,600	0.698	1,815
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,211	0.589	1,302
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	362	0.952	345
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,815	0.971	1,762
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,302	1.000	1,302
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,409
実利用率との差の調整		3,409	(g1) 実利用割合	最終ニーズ量
			0.809	2,758

○小2

A2

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,774	0.081	549
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,628
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,235
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	549	0.667	366
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,628	0.698	1,834
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,235	0.589	1,316
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	366	0.952	348
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,834	0.971	1,781
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,316	1.000	1,316
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,445
実利用率との差の調整		3,445	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,787
1→2年持ち上がり率		2,787	(g2) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.953	2,656

○小3

A3

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,672	0.081	540
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,589
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,202
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	540	0.667	360
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,589	0.698	1,807
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,202	0.589	1,297
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	360	0.952	343
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,807	0.971	1,755
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,297	1.000	1,297
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,395
実利用率との差の調整		3,395	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,747
2→3年持ち上がり率		2,747	(g3) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.831	2,283

低学年合計

7,697

平成28年度の高学年の計算

○小4・小5・小6 **D**

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,737+6,717 +6,722= 20,176
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b低)

潜在家庭類型割合(低学年)
0.128
0.389
0.313
0.004

(c低)

家庭類型別児童数
2,583
7,848
6,315
81

〈ニーズ量の算出〉 (c低)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	2,583
タイプB フルタイム×フルタイム	7,848
タイプC フルタイム×パートタイム	6,315
タイプE パート×パート	81

(d低)

利用意向率(低学年)
0.490
0.462
0.290
0.333

ニーズ量(仮①)

1,266
3,626
1,831
27

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉

	ニーズ量(仮①)
タイプA ひとり親	1,266
タイプB フルタイム×フルタイム	3,626
タイプC フルタイム×パートタイム	1,831
タイプE パート×パート	27

(f小高)

高学年意向率
0.154
0.192
0.008
0.000

ニーズ量(仮②)

195
696
15
0

高学年合計

906

平成29年度の低学年の計算

○小1

A1

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,741	0.081	546
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,616
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,225
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	546	0.667	364
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,616	0.698	1,826
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,225	0.589	1,311
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	364	0.952	347
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,826	0.971	1,773
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,311	1.000	1,311
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,431
実利用率との差の調整		3,431	(g1) 実利用割合	最終ニーズ量
			0.809	2,776

○小2

A2

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,737	0.081	546
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,614
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,223
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	546	0.667	364
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,614	0.698	1,825
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,223	0.589	1,309
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	364	0.952	347
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,825	0.971	1,772
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,309	1.000	1,309
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,428
実利用率との差の調整		3,428	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,773
1→2年持ち上がり率		2,773	(g2) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.953	2,643

○小3

A3

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,794	0.081	550
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,636
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,242
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	550	0.667	367
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,636	0.698	1,840
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,242	0.589	1,321
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	367	0.952	349
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,840	0.971	1,787
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,321	1.000	1,321
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,457
実利用率との差の調整		3,457	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,797
2→3年持ち上がり率		2,797	(g3) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.831	2,324

低学年合計

7,743

平成29年度の高学年の計算

○小4

B

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,685
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b未)

潜在家庭類型割合(未就学)
0.081
0.388
0.330
0.000

(c未)

家庭類型別児童数
541
2,594
2,206
0

〈ニーズ量の算出〉 (c未)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	541
タイプB フルタイム×フルタイム	2,594
タイプC フルタイム×パートタイム	2,206
タイプE パート×パート	0

(d未)

利用意向率(未就学)
0.667
0.698
0.589
0.000

(e)

ニーズ量(仮①)
361
1,811
1,299
0

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉 (e)

	ニーズ量(仮①)
タイプA ひとり親	361
タイプB フルタイム×フルタイム	1,811
タイプC フルタイム×パートタイム	1,299
タイプE パート×パート	0

(f未高)

高学年意向率
0.333
0.386
0.342
0.000

(g)

ニーズ量(仮②)
120
699
444
0
1,263

小学4年

実利用率との差の調整	1,263
------------	-------

実利用割合
0.809

最終ニーズ量
1,022

○小5・小6

D

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,753+6,722 = 13,475
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b低)

潜在家庭類型割合(低学年)
0.128
0.389
0.313
0.004

(c低)

家庭類型別児童数
1,725
5,242
4,218
54

〈ニーズ量の算出〉 (c低)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,725
タイプB フルタイム×フルタイム	5,242
タイプC フルタイム×パートタイム	4,218
タイプE パート×パート	54

(d低)

利用意向率(低学年)
0.490
0.462
0.290
0.333

(e)

ニーズ量(仮①)
845
2,422
1,223
18

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉

	ニーズ量(仮①)
タイプA ひとり親	845
タイプB フルタイム×フルタイム	2,422
タイプC フルタイム×パートタイム	1,223
タイプE パート×パート	18

(f小高)

高学年意向率
0.154
0.192
0.008
0.000

(g)

ニーズ量(仮②)
130
465
10
0

小学5年・小学6年

605

高学年合計

1,627

平成30年度の低学年の計算

○小1

A1

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,716	0.081	544
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,606
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,216
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	544	0.667	363
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,606	0.698	1,819
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,216	0.589	1,305
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	363	0.952	346
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,819	0.971	1,766
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,305	1.000	1,305
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,417
実利用率との差の調整		3,417	(g1) 実利用割合	最終ニーズ量
			0.809	2,764

○小2

A2

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,776	0.081	549
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,629
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,236
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	549	0.667	366
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,629	0.698	1,835
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,236	0.589	1,317
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	366	0.952	348
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,835	0.971	1,782
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,317	1.000	1,317
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,447
実利用率との差の調整		3,447	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,789
1→2年持ち上がり率		2,789	(g2) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.953	2,658

○小3

A3

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,755	0.081	547
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,621
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,229
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	547	0.667	365
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,621	0.698	1,829
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,229	0.589	1,313
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	365	0.952	347
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,829	0.971	1,776
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,313	1.000	1,313
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,436
実利用率との差の調整		3,436	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,780
2→3年持ち上がり率		2,780	(g3) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.831	2,310

低学年合計

7,732

平成30年度の高学年の計算

○小4・小5

B

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,807+6,702 13,509
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b未)

潜在家庭類型割合(未就学)
0.081
0.388
0.330
0.000

(c未)

家庭類型別児童数
1,094
5,241
4,458
0

〈ニーズ量の算出〉 (c未)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	1,094
タイプB フルタイム×フルタイム	5,241
タイプC フルタイム×パートタイム	4,458
タイプE パート×パート	0

(d未)

利用意向率(未就学)
0.667
0.698
0.589
0.000

(e)

ニーズ量(仮①)
730
3,658
2,626
0

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉 (e)

	ニーズ量(仮①)
タイプA ひとり親	730
タイプB フルタイム×フルタイム	3,658
タイプC フルタイム×パートタイム	2,626
タイプE パート×パート	0

(f未高)

高学年意向率
0.333
0.386
0.342
0.000

ニーズ量(仮②)
243
1,412
898
0
2,553

小学4年

実利用率との差の調整	2,553
------------	-------

(g)

実利用割合	0.809
-------	-------

最終ニーズ量	2,065
--------	-------

○小6

D

〈家族類型別児童数の算出〉 (a)

	推計児童数
タイプA ひとり親	6,759
タイプB フルタイム×フルタイム	
タイプC フルタイム×パートタイム	
タイプE パート×パート	

(b低)

潜在家庭類型割合(低学年)
0.128
0.389
0.313
0.004

(c低)

家庭類型別児童数
865
2,629
2,116
27

〈ニーズ量の算出〉 (c低)

	家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	865
タイプB フルタイム×フルタイム	2,629
タイプC フルタイム×パートタイム	2,116
タイプE パート×パート	27

(d低)

利用意向率(低学年)
0.490
0.462
0.290
0.333

ニーズ量(仮①)
424
1,215
614
9

〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉

	ニーズ量(仮①)
タイプA ひとり親	424
タイプB フルタイム×フルタイム	1,215
タイプC フルタイム×パートタイム	614
タイプE パート×パート	9

(f小高)

高学年意向率
0.154
0.192
0.008
0.000

ニーズ量(仮②)
65
233
5
0

小学6年

303

高学年合計

2,368

平成31年度の低学年の計算

○小1

A1

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,487	0.081	525
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,517
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,141
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	525	0.667	350
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,517	0.698	1,757
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,141	0.589	1,261
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	350	0.952	333
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,757	0.971	1,706
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,261	1.000	1,261
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,300
実利用率との差の調整		3,300	(g1) 実利用割合	最終ニーズ量
			0.809	2,670

○小2

A2

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,749	0.081	547
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,619
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,227
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	547	0.667	365
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,619	0.698	1,828
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,227	0.589	1,312
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	365	0.952	347
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,828	0.971	1,775
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,312	1.000	1,312
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
				3,434
実利用率との差の調整		3,434	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,778
1→2年持ち上がり率		2,778	(g2) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.953	2,647

○小3

A3

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,795	0.081	550
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	2,636
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	2,242
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	550	0.667	367
タイプB	フルタイム×フルタイム	2,636	0.698	1,840
タイプC	フルタイム×パートタイム	2,242	0.589	1,321
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未低)	
	ニーズ量(仮①)		低学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	367	0.952	349
タイプB	フルタイム×フルタイム	1,840	0.971	1,787
タイプC	フルタイム×パートタイム	1,321	1.000	1,321
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
			小学2年合計	3,457
実利用率との差の調整		3,457	(g1) 実利用割合	ニーズ量(仮③)
			0.809	2,797
2→3年持ち上がり率		2,797	(g3) 持ち上がり率	最終ニーズ量
			0.831	2,324
低学年合計				7,641

平成31年度の高学年の計算

○小4・小5・小6 **(B)**

〈家族類型別児童数の算出〉		(a)	(b未)	(c未)
	推計児童数		潜在家庭類型割合(未就学)	家庭類型別児童数
タイプA	ひとり親	6,768+6,824 +6,708 20,300	0.081	1,644
タイプB	フルタイム×フルタイム		0.388	7,876
タイプC	フルタイム×パートタイム		0.330	6,699
タイプE	パート×パート		0.000	0
〈ニーズ量の算出〉		(c未)	(d未)	(e)
	家庭類型別児童数		利用意向率(未就学)	ニーズ量(仮①)
タイプA	ひとり親	1,644	0.667	1,097
タイプB	フルタイム×フルタイム	7,876	0.698	5,497
タイプC	フルタイム×パートタイム	6,699	0.589	3,946
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
〈低学年・高学年の意向反映後のニーズ量の算出〉		(e)	(f未高)	
	ニーズ量(仮①)		高学年意向率	ニーズ量(仮②)
タイプA	ひとり親	1,097	0.333	365
タイプB	フルタイム×フルタイム	5,497	0.386	2,122
タイプC	フルタイム×パートタイム	3,946	0.342	1,350
タイプE	パート×パート	0	0.000	0
			高学年合計	3,837
			(g)	
実利用率との差の調整		3,837	実利用割合	最終ニーズ量
			0.809	3,104

事 務 連 絡

平成26年5月1日

各 都道府県 子ども・子育て支援新制度担当課 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

放課後児童健全育成事業に関する「量の見込み」に関する調査の集計結果について
(情報提供)

子ども・子育て支援施策の推進につきましては、平素からご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

先日は、標記調査の取りまとめにご協力いただきありがとうございました。

放課後児童健全育成事業の「量の見込み」については、国から示した「調査票のイメージ」が主に0～5歳児を対象としていたことから、「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」において、

- ・ 対象児童として5歳児の利用意向を用いた算出方法を示しつつ、
- ・ 留意事項として、就学児に対する調査を行っている場合には、各市町村の判断で、当該調査の結果を利用することについて記載しておりました。

今回、各市区町村からの回答をとりまとめ、5歳児時点での利用意向を基にした「量の見込み」と、就学児の利用意向を基にした「量の見込み」を比較したところ、よりニーズの実態に近い就学児よりも、5歳児時点での利用意向を基にした「量の見込み」の方が高くなる傾向が見られますので、この結果について別紙のとおり情報提供いたします。

この調査結果を受けて、国としましては、

- ① 5歳児調査と就学児調査の両方を実施している市区町村については、就学児調査の結果を「量の見込み」とする
- ② 5歳児調査のみを実施している市区町村については、別紙傾向を踏まえ、5歳児調査と就学児調査の乖離度又は就学児調査の利用意向率の全国平均値を用いて、5歳児調査の数値を補正して「量の見込み」とする

といった方法が、よりニーズの実態に近い「量の見込み」になるものと考えております。

つきましては、就学児調査を行っていない市区町村も含め、各市区町村の子ども・子育て会議での議論等における「量の見込み」の今後の検討材料としてご活用いただけるよう、管内市区町村に情報提供をお願いいたします。

なお、本集計結果はあくまでも暫定値であり、今後精査を行った上で確定値を情報提供させていただく予定です。

問い合わせ先：

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

TEL：03-5253-1111（内線7909）、FAX：03-3595-2672

(別紙)

○放課後児童健全育成事業に関する「量の見込み」に関する調査集計結果（暫定）

- ・利用意向率及び「5歳児調査」・「就学児調査」の乖離度（平成31年度）

【全国】

	小学1～3年生	小学4～6年生
利用意向率（5歳児調査）	34.1%	17.8%
利用意向率（就学児調査）	26.9%	12.3%
乖離度（就学児調査/5歳児調査）	<u>78.9%</u>	<u>69.0%</u>

【都市部（指定都市・中核市）】

	小学1～3年生	小学4～6年生
利用意向率（5歳児調査）	35.2%	17.3%
利用意向率（就学児調査）	28.4%	12.5%
乖離度（就学児調査/5歳児調査）	<u>80.5%</u>	<u>72.2%</u>

【一般市区町村】

	小学1～3年生	小学4～6年生
利用意向率（5歳児調査）	33.3%	18.1%
利用意向率（就学児調査）	25.9%	12.1%
乖離度（就学児調査/5歳児調査）	<u>77.7%</u>	<u>66.9%</u>

※利用意向率の算出方法・・・小学1～3（4～6）年生の「量の見込み」／6～8（9～11）歳の児童数

※乖離度の割合が高いと「5歳児調査」と「就学児調査」の乖離が少ない